

国際広報メディア専攻

平成 27 年度
後 期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙は、この紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙（25字×40行＝1000字）は、2枚ある。
4. 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語（横書き）で解答しなさい。

【問題 1】

2020 年の日本、紙の本の発行部数を、はじめて電子書籍が上回り、電子書籍が本格的に普及をはじめた。その一方で、過去出版された紙の本は依然多数残っており、完全には置き換わっていない。そのような時代に、図書館はどんな「本」を収集し、また、どんな役割を果たすのだろうか。現代の図書館と比較しながら論じなさい。

【問題 2】

STAP 細胞を巡るマスメディア上での発表や批判、その後の展開を振り返り、この現象について一般マスメディア、専門メディアとしての研究誌、組織コミュニケーションの主体としての研究機関、それぞれが果たすべき役割と呈示した問題点について考えるところを述べなさい。

【問題 3】

「暗黙知」(tacit knowledge) と「形式知」(explicit knowledge) という概念がある。暗黙知を「個人の経験や勘に基づく身体に内在した知識であり、言葉などで表現が難しい知識」、形式知を「文章、図表、マニュアル等で明示的に言語化された知識」と定義する。暗黙知では、自転車を乗りこなす行為がよく引き合いに出される。この場合、個人の経験や勘所など、無意識のうちに複雑な身体機構を作動させる技能が暗黙知と理解される。暗黙知は本質的な意味において形式知化できると考えられるだろうか。具体的な例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

【問題 4】

「コミュニケーション能力」とは何か、あなたの考えを具体的に述べなさい。その上で、そのような「コミュニケーション能力」を目標とした言語教育とはどのようなものか、例を挙げて具体的に述べなさい。